

シャント

Q3 シャント血管が腫れてきて外見的に気になります。どうして腫れてきたのでしょうか？ 何か予防する方法はありますか？

A3 シャント血管が瘤^{こぶ}のように腫れる場合、2つのことが考えられます。

一つは、繰り返し穿刺^{せんし}することによって発生する穿刺部瘤です。もう一つは、動脈と静脈をつなぎ合わせた部位、いわゆる吻合部^{ふんごうぶ}に発生するシャント瘤が考えられます。それぞれについて詳しく説明します。

穿刺部瘤は、同一部位に繰り返して穿刺することによって起こります。いつも同じ部位に針を刺すことで、血管の壁が徐々に薄くなり、壁が壊れて瘤が形成されてくるのです。そうならないために患者さんが気を付けなければいけないことは、とにかく同一部位の穿刺を避けることです。同一部位の穿刺は痛みが少ないので、同じ所に穿刺することを希望される患者さんも多く、スタッフも同じ所に穿刺を繰り返しがちですが、シャント血管を長持ちさせるためにも、なるべく違う所に穿刺することの重要性を理解してください。そうはいつても、失敗の多い部位への積極的な穿刺は避けたほうがよいでしょう。

穿刺の失敗により内出血を起こし、血管が狭くなってしまったら、これもまた瘤を形成させる要因になってしまいます。穿刺部位をまんべんなく変えるために、可能ならば、曜日毎の穿刺部位を患者さんご自身が管理されることをお勧めします。

シャント瘤とは、動脈と静脈をつなぎ合わせた吻合部近辺に起こるもので、多くは吻合部直後に血管が狭くなることが原因で、血液が流れると吻合部に強い圧がかかるために起こります。瘤の大きさはさまざまですが、多くは経過観察で大丈夫です。

瘤ができると、外見が気になる、ワイシャツのカフスができない、ボタンがとめられないなどの相談を受けることがあります。このような場合には、時期をみて瘤の摘出手術を行います。瘤が急速に増大したり、瘤の皮膚が薄くなってきて青紫色になったり、感染を伴うようならば、早急に外科的な処置が必要です。専門医の診察を受けてください。

(前波輝彦／あさお会 あさおクリニック・医師)